

環境レポート2009

<基本方針>

当社は、物づくりにおいて、品質・環境・安全への配慮はきわめて重要な経営課題であるという認識に立ち、下記「基本方針」に基づき各マネジメントシステムを推進しております。

基本方針

製造、販売及びサービス等すべての事業活動における企業責任を果たすため、以下の事項を定め、マネジメントシステムを推進し、その有効性を継続的に改善します。

1. 品質第一に心得、敏速に行動する
2. 感性を磨き、こだわりを重視する
3. 流行に惑わされず、百年の計を見通す
4. 快適な職場環境を形成し、社員の安全と健康を確保する
5. 法規制及びその他の約束を遵守する
6. 資源の節約及び廃棄物の発生量の低減に努める
7. あらゆる活動状況において、汚染の予防を徹底する
8. 環境への負荷を常に考えた行動を行い、環境負荷の少ない製品の提供に努める

2005.4.1

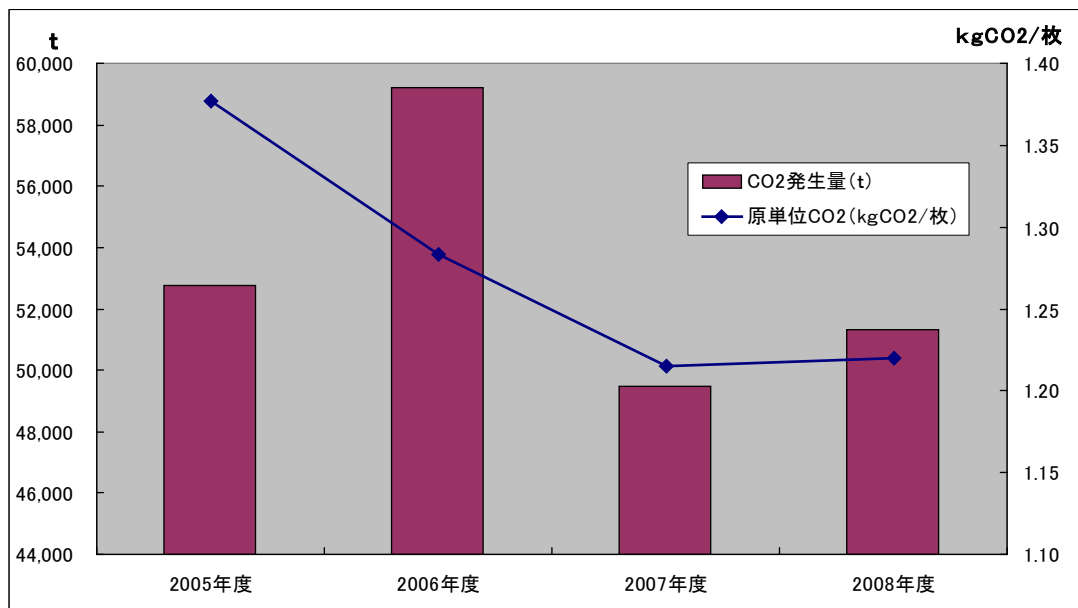
丸栄陶業株式会社

代表取締役 樺山善久

<CO2発生量削減>

省エネルギー・環境問題への取組みは、1982年、当時のトンネル窯の燃料を重油からLPGに転換しております。2001年度には、具体的な削減目標として、「瓦1枚当りLPG使用量前年度比1%低減」を掲げました。2003年度より、地球温暖化対策の観点からCO2発生量の統計を取り始め、引き続き「瓦1枚当りCO2発生量前年度比1%低減」を目標に掲げました。

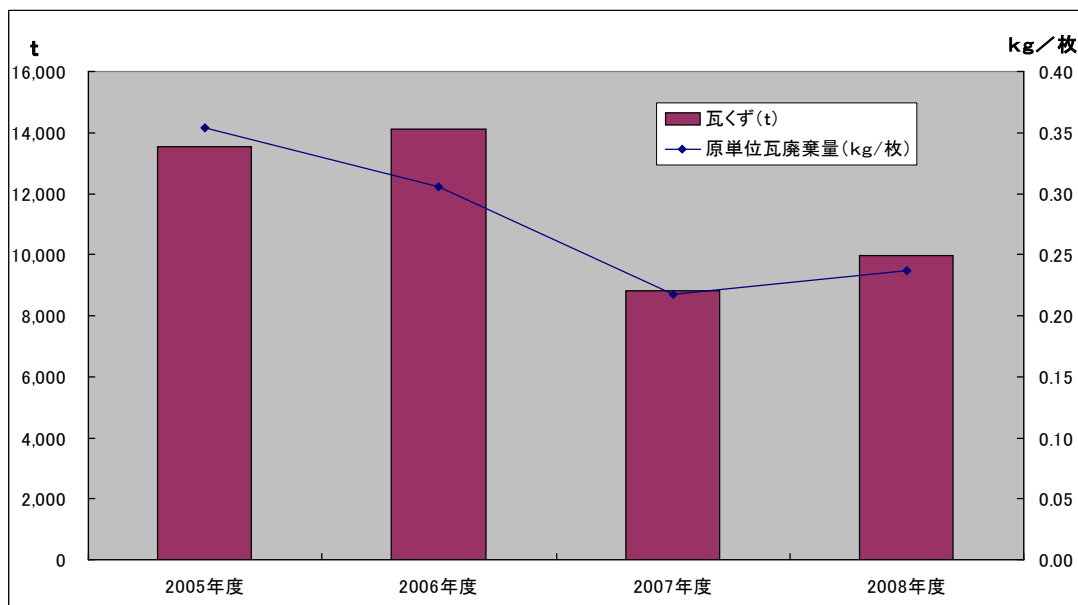
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
市販品生産枚数(千枚)	38,298	46,132	40,708	42,084
CO2発生量(t)	52,750	59,204	49,459	51,331
瓦1枚(原単位)当り CO2発生量(kg/枚)	1.38	1.28	1.21	1.22



< 廃棄物削減 >

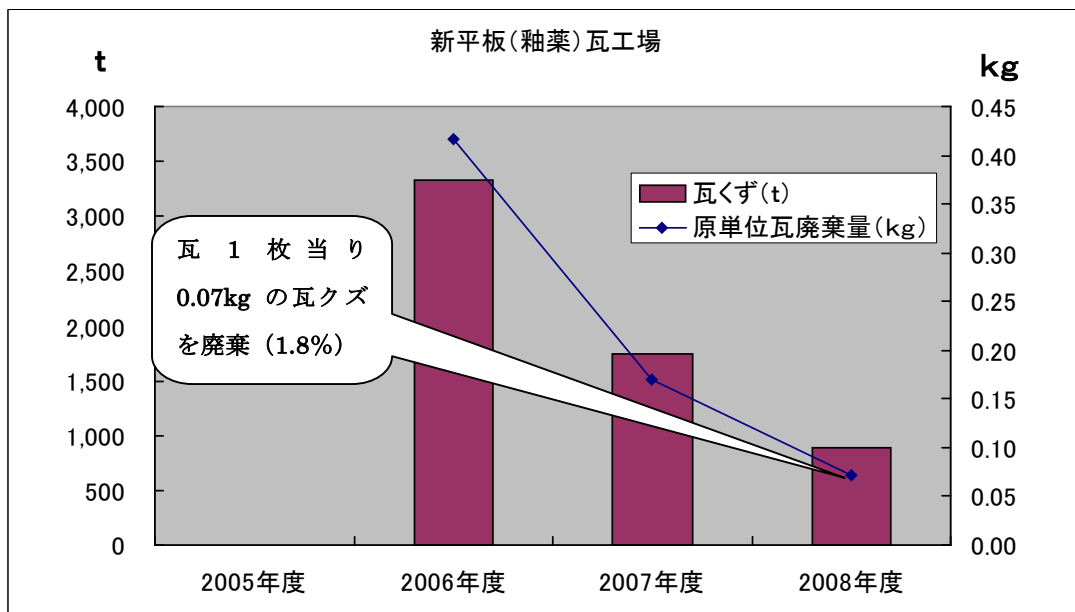
生産の過程で不良品（瓦クズ）が約5%前後発生します。これら瓦くずは、愛知県陶器瓦工業組合に処分を委託しています。愛知県陶器瓦組合では、シャモットまたはビット等に加工し適正に処分を行っています。瓦くずの削減目標はLPGと同じく瓦1枚当りの原単位で管理し、前年度比1%を低減する事を目標に、数々の取り組みを行っています。

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
瓦クズ発生量(t)	13,538	14,094	8,840	9,974
瓦1枚当り(kg/枚)	0.35	0.31	0.22	0.24



<新平板（釉薬）工場・本社第3工場>

2006年6月より、最新鋭の設備を導入した量産型自動ライン工場・本社第3工場を稼働させました。この大量生産工場稼働により、それまで月産30万枚の平板工場を閉鎖し、集約化させ、瓦1枚あたり（原単位あたり）の省エネ効果、CO₂削減効果を得ることができました。またこの本社第3工場の立ち上げから本格稼働までを成功裏に導いたことで、瓦クズの削減にも大きな効果を上げています。



<その他の環境負荷の低減>

その他の環境負荷の低減への取り組みといたしましては、大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の各環境法規制を順守するとともに、工場では、法による規制よりも一段と厳しい環境保全に関する協定を自治体と結び排出量削減の強化を図り、2007年1月より使用している釉薬は、すべて無鉛になりました。

釉薬（釉薬処理水）には、PRTR 法に規制される化学物質が含まれております。そのため工場では、その取り扱いに特に注意し、事故の予防及び事故発生時の処置についても緊急事態対応マニュアルを作成し運用しています。2006年度には、全工場の釉薬処理水を原料の水分調整用として使用することに成功し、以後処理水は、社外へ排出していません。

地球温暖化対策計画—実施状況（平成 20 年度）

工場名	目標計画	指標とする原単位の考え方	平成20年度 目標数値	平成20年度 実績数値	達成率
本社工場	平成18年度を基準年度として毎年1%ずつ削減し、3年で3%削減する。	瓦1枚(不良品を除く)作るのに~KgのCO ₂ が発生したか。	1.56kgCO ₂ /枚	1.2kgCO ₂ /枚	123.1%
衣浦工場			1.14kgCO ₂ /枚	1.10kgCO ₂ /枚	103.5%
玉津浦工場			1.44kgCO ₂ /枚	1.5kgCO ₂ /枚	95.8%
